

自民党誠心会 県外調査報告

広島県・山口県

令和3年12月19日～21日



Hiroshima

Yamaguchi



今回の県外調査では、①エネルギー政策、②防災・減災対策、③官民による実証実験の取り組み、④新幹線新駅及び周辺整備の4項目をテーマとした。

いずれも今後の山梨県が直面する課題であり、先進的かつ参考となる調査地として広島県と山口県を訪れた。

本県の未来に向けた課題解決のため具体的事例を調査
代表・一般質問及び委員会審査等での政策提言に活かす！

02 防災・減災対策

②西日本豪雨災害による広島県内の被災状況及び復旧工事の進捗などについて、現地視察も説明を受けた。土砂災害防止のため施工方法なども学び、その後、「災害体験VR」の取り組みについて説明を受け、VRゴーグルを装着し洪水災害の疑似体験も行った。



ひろしまサンドボックス

③官民による実証実験の場を創出する「ひろしまサンドボックス」の取り組みは、県全体を実証フィールドとしてAI・IoTを活用した実証実験が可能な環境を整備するもので、これまでの経過や今後の展開など、予算措置の状況なども含めて説明を受けた。新型コロナウイルス感染症対策交付金を活用した具体的な実証プロジェクトの募集や採択状況を聞き、推進体制や「砂場のように試行錯誤が可能な場づくり」の考え方について意見交換を行った。



04 新山口駅

④リニア中央新幹線の開業に向け、新山梨県駅の整備が重要な課題でもあり、交通結節点の機能を活かした新幹線駅及び周辺整備の事例を調査するため、「新山口駅ターミナルパーク推進事業」について説明を受けた。基盤整備と市街地形成をパッケージで進めた新山口駅の整備効果やまちづくり、壁面植栽などについて、現地視察と意見交換を行った。



01 広島大学

①広島大学では、大学キャンパスで排出する温暖化ガスをなくす「カーボンゼロ」の取り組みなど、「Town & Gown構想」を地元自治体や民間企業などと連携して進めており、「広島大学における太陽光発電事業」の取り組み内容や、これまでの成果と今後の方向性などについて調査と意見交換を行った。「自動運転シャトルHIROMOBI」や「電動キックボード」の乗車も体験した。



調査結果を踏まえ、本県の地域特性や新たな視点なども取り入れつつ、会派での議論・研究を深め、直面する課題の解決策を検討していくとともに、本県の発展と県民生活の向上につながる取り組みを進めていくこととした。その後の2月定例会においては、誠心会議員による代表・一般質問の中で、県外調査を反映した質疑や政策提言も行われた。

掲示板

委員長に就任した会派のメンバー



教育厚生委員会委員長

乙黒 泰樹
山梨市



土木森林環境委員会委員長

大久保 俊雄
笛吹市

編集後記

住民に最も近い地方議員は民主主義を体現する立場であり、自治体の意思を決めるのは議会です。住民の代弁者たる議員は職責を理解し、それぞれに知恵を出し合い、首長や職員と切磋琢磨しながら住民の福祉向上に努める必要があります。コロナ禍をはじめ県民の皆様が抱える諸課題の解決に向け、引き続き会派・議員として様々な取り組みを進めていきます。(向)

自民党誠心会 県政報告

第12号

2022年
5月号

力を合わせ次代の扉を拓く



志村 直毅
笛吹市

鷹野 一雄
中巨摩郡

渡辺 淳也
富士吉田市

猪股 高彦
甲斐市

乙黒 泰樹
山梨市

大久保 俊雄
笛吹市

向山 憲穂
甲府市

白壁 賢一
南都留郡

河西 敏郎
中央市

望月 勝
西八代郡・南巨摩郡

皆川 巖
甲府市

桜本 広樹
南アルプス市

杉山 肇
都留市・西桂町

山田 一功
甲斐市

会派一丸で県政の諸課題に取り組む

全国的に新型コロナの感染状況が一進一退を繰り返している中で、ロシアのウクライナ侵攻によって世界的に経済情勢は混沌とし、日本の独立国家としての安全が危ぶまれています。

このような困難な状況下において、自民党誠心会は二元代表

制のもとに、常に問題意識を持ち、真に必要な施策は何かの議論を重ね、確固たる信念と結束力で今後も様々な諸課題に取り組んでまいります。

自民党誠心会代表 皆川 巖

過去最大! 県民生活に直結する当初予算を決定

山梨県議会は、一般会計総額が過去最大5,467億円の令和4年度当初予算案を審議し、自民党誠心会を含む賛成多数で可決しました。

新型コロナウイルス感染症の対策費用に加え、インフラ整備や教育環境の充実、観光・産業などの分野に重点配分した予算で、自民党誠心会による意見提言が反映された予算内容となっています。

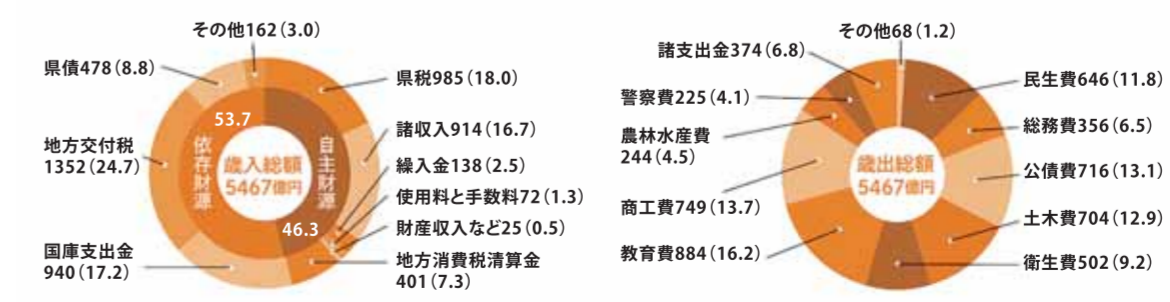
特に県内各地の防災・減災につながる公共事業・県単独公共事業費は、過去10年ではじめて900億円を超え約931億円(前年度比

36億円増)。自然災害やインフラ老朽化の対策にかかる事業費が含まれ、強靱な県土づくりを進めていきます。

新型コロナ関連では、検査体制の強化や感染患者の受入支援事業などの医療関係費のほか、山梨県独自の「やまなしGo Toトラベル」推進事業費などを予算化し、県内経済の安定化・反転攻勢を図っていきます。

自民党誠心会は、県に対して着実な予算執行を求めつつ、引き続き「県民目線に立った」先進的な政策提案を行ってまいります。

令和4年度 一般会計当初予算



新型コロナウイルス対策の主な事業

患者受入支援事業費補助金	130億円
ホームケア事業費	59億8956万円
検査体制強化事業費	46億852万円
商工業振興資金貸付金	42億9千万円
「やまなしGo Toトラベル」推進事業費	97億824万円



会派代表

皆川 巖

甲府市

議会運営委員会
土木森林環境委員会

真の心で立ち向かう・誠心会

山梨県議会は本会議場にウクライナの国旗を掲げ、令和4年2月定例会においてはロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議を私が提案説明をし、全会一致で可決しました。

誠心会では、会派議員全員がウクライナ国旗のバッジを胸に付け、ウクライナの独立国家維持と世界の平和を祈っております。

行政も議会も究極の目標は「住民の生命を守る」ことです。経済も医療も教育も、すべてそのための対策であります。その目的を果たすために議会活動をこれからも継続する決意です。

モットーは「忍耐」と「勇気」

人の話や意見をよく聞く、耳を傾ける。そしてすぐ怒らない、出来るだけ我慢する。それが忍耐。でも耐えてばかりでは事は進まない。これだと信じたら「勇気」をもって進む、行動に移す。そして今までも、これからも「市民ファースト」「県民ファースト」。以上が私の心情です。

県や市町村の自治体の行政運営は国政と異なりま

今日も元気です。

山田 一功

甲斐市

土木森林環境委員会



関ヶ原の戦いで、「島津の退き口」と言われた決死の退却をした戦国武将の島津義弘は、

- ①何かに挑戦し成功した者
- ②何かに挑戦し失敗した者
- ③自らは挑戦しなかったが、挑戦した人の手助けした者
- ④何もしなかった者

⑤何もせずに批判だけしている者という順に人の評価をしたと言われています。今後も挑戦を忘れず、物事に真摯に取り組んで参ります。

会派副代表

河西 敏郎

中央市

議会運営委員会
総務委員会



二元代表制の一翼を担う議会の一員として、全力で取り組んで参ります！

富士吉田市の皆様のご多大なご支援により、2期目に当選させていただいてから3年が過ぎ、今任期の最後の年度となりました。コロナ禍は依然、終息のめどはたつておらず、本県においても県民生活に対する影響も深刻であり、大変厳しい状況が続いております。このような中、ポストコロナに向けた施策の実行が早急に求められていることを実感しております。

今後も初心を忘れず、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ医療・介護・福祉の充実、観光振興、子育て支援、富士山火山防災対策、公共インフラの整備等の様々な県政課題に対して積極果敢に挑戦し続け、二元代表制の一翼を担う議会の一員として山梨県の発展と県民生活の向上のため、全力で取り組んで参ります。

誠実と実行力

皆様の温かい御支援により与えて頂きました県議会議員としての任期も残り1年を切りました。

これまでの間、道路整備の促進、河川整備・急傾斜地対策のほか、教育・子育て、障害者福祉、地域医療の充実化、機械電子産業等の地域経済の活性化など地域課題にも取り組んでまいりました。論語にこのような一説があります。

子路、政を問う。子曰く、之れに先んじ之れを勞う。益を請う。曰く、倦むこと無かれ。(子路第十三)【政治にとって大切なことは、率先して働き、人を思いやることである。そしてそのことを一心不乱に実行し続けることである。】
これからも、真面目に謙虚に、地域の課題解決に向け全力で取り組んで参ります。

杉山 肇

都留市・西桂町

第116代副議長
教育厚生委員会



渡辺 淳也

富士吉田市

土木森林環境委員会



もっと元気に！ もっと便利に！ もっと楽しく！

県は、再生可能エネルギーによりグリーン水素を製造するパワーツーガス(P2G)システムの開発に取り組んでいます。これらの最先端技術は、日本の産業を牽引するポテンシャルを持っていることは自明であり、昭和町においても誘致などに積極的に関わることで、「人を呼び込める価値の創造」に繋がるものと考えます。

また、都市計画分野においては、市街化調整区域でも住宅開発が可能となるよう、地区計画制度など各種施策を導入することで、市への移行条件である人口増が図れるものと考えます。以上のような取り組みを積極的に進めることにより、将来、「山梨県昭和市構想」を具現化できるものと確信し、今後も粉骨砕身の覚悟で議員活動に邁進して参ります。

鷹野 一雄

中巨摩郡

総務委員会



ブレずに、真摯に、全力で。

議員は、多様な県民の皆様のご意見やご提言を、議会の中で大いに議論し、合意形成を図りながら県行政の意思決定を行うことが仕事です。

そのため、課題によっては丁寧に検討を進める必要があり、可能な限り情報を収集し、多角的な観点から物事を捉えた上で、政策の必要性や妥当性を判断することが欠かせません。

誠心会では、調査や検証を重ね、議論と理解を深めながら、県民のためになるかどうか、県民に寄り添った判断が、常に是々非々の姿勢で向き合っています。議会は行政の追認機関ではなく、政策を提案し行政と善政競争を行わなければなりません。

県民の皆様への尊い信託に応えられるよう、ブレずに、真摯に、全力で初心を忘れず議員活動に臨んでいます。

志村 直毅

笛吹市

農政産業観光委員会



会派副代表

望月 勝

西八代郡・南巨摩郡

議会運営委員会委員長
教育厚生委員会

努力と前進

私は、県議として峡南・西八代の各種課題に取り組んでまいりましたが、自身が目指す県土・地域づくりはまだ道半ばです。

16年近く前から、最大の目標としてきました少子高齢化や人口減少も国、県を挙げての取り組みも依然、厳しい状況にあります。加えて令和2年からの新型コロナウイルスによる医療の再構築や社会の混乱など、

新たな対策も求められています。ただし、これらの諸課題の解決に向けて「困難でも、苦しくても、あきらめたいいけない」というのが私の信念です。長年の懸案だった中部横断自動車道の山梨静岡間の開通はその決意の実現でもありました。これからも現れるであろう課題と対峙していく覚悟です。

変動の時代。困難を乗り越え課題に挑戦します

山梨県の究極の施策目標は、お年寄りが笑顔で安心して余生を送れる社会、子供たちどうし夢を語る社会、若者が希望をもって暮らし働ける社会、男性だけでなく女性が輝き様々な事柄に参画できる社会、これに尽きます。

そのためには、福祉施策の拡充や子育て支援・少子化対策、企業誘致や小規模事業者支援、自己肯定感

醸成のための就学前教育と義務教育における少人数教育、世界に通用するボーディングスクールや国際バカロレア教育、県有資産の最大有効活用や観光資源の掘り起こしと磨き上げ、環境と開発のバランス・etc. 優先順位はあるにせよ、これらが成就して初めて県民の幸せづくりにつながります。バイアスのかかった施策はNGであり、それを正すのが県議会の使命です。

白壁 賢一

南都留郡

議会運営委員会副委員長
農政産業観光委員会



心の声を県政・市政に！ 新たななる挑戦 ～即断・即決・現場主義を貫く～

桜本 広樹

南アルプス市

第130代議長
総務委員会



山梨と南アルプスの未来のために

- ・人生100年時代の実現
- ・ご当地(南アルプス)ナンバーの導入
- ・婚活・子育てへの支援拡充
- ・儲かる農業へ改植補助及び圃場整備
- ・消防団の組織改編・団員の処遇改善
- ・河川上流部の各所への堰堤設置

安心な生活を

- ・給食費の無料化
- ・持ち家支援制度の充実化
- ・生活困窮者への支援
- ・**公金支出事務の厳格化**
- ・巨摩高と白根高の存続
- ・老人ホーム待機者解消

快適な環境を

- ・有野バイパスの早期完成
- ・八田スマートICの実現
- ・小笠原橋架替・周辺整備
- ・危険箇所への迅速な歩道設置
- ・リニア沿線対策の拡充
- ・**新鏡中条橋の建設**

地方行政もグローバル化に対応へ

発生以来3年目を迎えた新型コロナウイルスは、令和4年現在も県内で感染が継続中です。世界、国内と各都道府県、そして私自身が暮らす甲斐市でも、医療、経済、教育のあらゆる方面で終結に向けてすべての人たちが奮闘中です。

その中であって少子高齢化による人口減少への環境づくりも相変わらず急務です。県民の皆様以上に

対策への責務を担わなければならないのが私たち県議だとも痛感しております。

加えて、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の変化は、遠い海の向こうの話ではなく、私たちの日々の暮らしに直接影響しています。県政や市政もグローバル化に対応しなければならない時代です。それらの新しい課題にも目を向けていく所存です。

猪股 尚彦

甲斐市

教育厚生委員会



勇往邁進

多くの皆様からの温かいご支援に、心から感謝申し上げます。2期目の任期も残り1年となりました。県政における課題は山積しておりますが、県民の皆様によりご理解いただけるよう、議会において積極的な議論を展開するとともに、議論の内容や施策の詳細についても丁寧に発信して参ります。

また、令和4年度は教育厚生委員会の委員長を拝

命致しました。県が進める少人数教育や学校現場におけるコロナ対策など、現状をしっかりと把握しつつ、現場の声に耳を傾け、県民の皆様により寄り添った施策を実践して参ります。今後も山梨県の発展のため全力で邁進していきます。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



乙黒 泰樹

山梨市

教育厚生委員会委員長

豊かで活力に満ちた山梨創生、次世代へ

アフターコロナの時代を見据え、変革の能動者として山梨の再生と飛躍のために全身全霊を傾けます。

山梨が輝くためには、激変する時代の流れに呼応した施策による郷土の創生が必要です。

豊かな自然、高品質な農作物、温泉、ワイン、宝飾などの大地の恵みを最大限活かした産業振興と全ての世代が安心して暮らせる県民福祉の向上を推進し、

「地方の自立」への手本を構築し、全国へ、世界へ向けて発信して参ります。

この困難な時代を乗り越え、次世代を担う子どもたちが輝く社会を構築することは私たちの責務です。豊かで活力に満ちた山梨創生に向けて、県民のみならず共に歩んで参ります。ご指導、ご意見を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

大久保 俊雄

笛吹市

土木森林環境委員会委員長



山梨までのリニア先行開業を！

2027年に開業予定のリニア中央新幹線は、静岡県内の工事が進まずに大幅な開業延期が見込まれています。東京～名古屋間の開業に時間がかかる場合には、「東京～山梨間の先行開業を実現すべき」と提言しています。

県内では現在、リニア本線や駅前エリアの用地取得、新駅周辺のインフラ整備により、リニア開業効果

を全県に波及させる取り組みが進められています。開業に向けた工事等が予定通りに行われた先に、いずれかのタイミングで先行開業という選択肢が出てくるはずですが、

先行開業は、何よりも県内経済の発展、観光振興に大きく寄与します。山梨県の活性化に直結する先行開業が実現するように引き続き意見提言していきます。

向山 憲稔

甲府市

農政産業観光委員会

